

JAPAN CLIMATE INITIATIVE \

Race to Zero Circle

RACE TO ZERO

Race to Zeroとは？

Race to Zero Circleに参加するとは？

2021年6月3日版

Race to Zeroとは？



- 健康で強靱なゼロカーボン復興に向け、非政府アクターの意欲的な取り組みを集結するための国際キャンペーンとして2020年6月5日に開始。
- Race to Zero参加主体は、**遅くとも2050年までにネットゼロを達成する**という共通の目標を約束。
- UNFCCCが主催し、気候行動ハイレベル・チャンピオン（現チャンピオンは、ゴンザロ・ムニョス氏とナイジェル・トッピング氏）が主導する。

Race to Zeroに参加しているのは？



- 参加する非政府アクターを合わせると、世界のCO2排出量の25%近く、GDP50%以上をカバーする。

Race to Zeroの背景 – 気候野心同盟の設立



- COP25議長国のチリの主導により、2019年9月にニューヨークで開催された「国連気候行動サミット」で発足。
- **2050年ネットゼロ**にコミットしている政府及び非政府アクターが参加する連合体
- COP25会期中には、12月11日に気候野心同盟の参加主体数を更新して発表

気候野心同盟から生まれたRace to Zero



- 気候野心同盟への非政府アクターのさらなる参加を促す
- Race to Zeroに参加する非政府アクターは、気候野心同盟の参加主体としてもカウントされる

気候野心同盟の参加主体リスト：

<https://climateaction.unfccc.int/views/cooperative-initiative-details.html?id=94>

Race to Zeroが目指すこと



- COP26の前に、脱炭素経済への移行に向けた機運を作り、「非政府アクターがパリ協定の目標達成と脱炭素と両立した回復のために団結している」と各国政府に知らしめることで、各国のNDC強化にも影響を与える
- 2050年ネットゼロの誓約に加え、達成のための計画、実行、公開が参加要件
- ゼロ宣言から実行にただちに踏み出し、できるだけ早くゼロを達成してほしいという期待が込められている。

Race to Zeroの参加要件

□ 最小要件 (Minimum Criteria)

1. 誓約 : Pledge

組織のトップレベルで、できるだけ早く、遅くとも2050年までにネットゼロを達成することに誓約すること。また、IPCC1.5℃特別報告書で示された2030年までに世界のCO2排出量50%削減（2010年比）に見合うまたはそれ以上の中間目標を設定すること。

2. 計画 : Plan

参加から12か月以内に、中期および長期の誓約達成に向けて、特に短中期でどんな行動をとるのかを説明すること。

3. 実行 : Proceed

設定した中間目標および2050年まゼロ達成に向けてすぐにアクションを起こすこと。

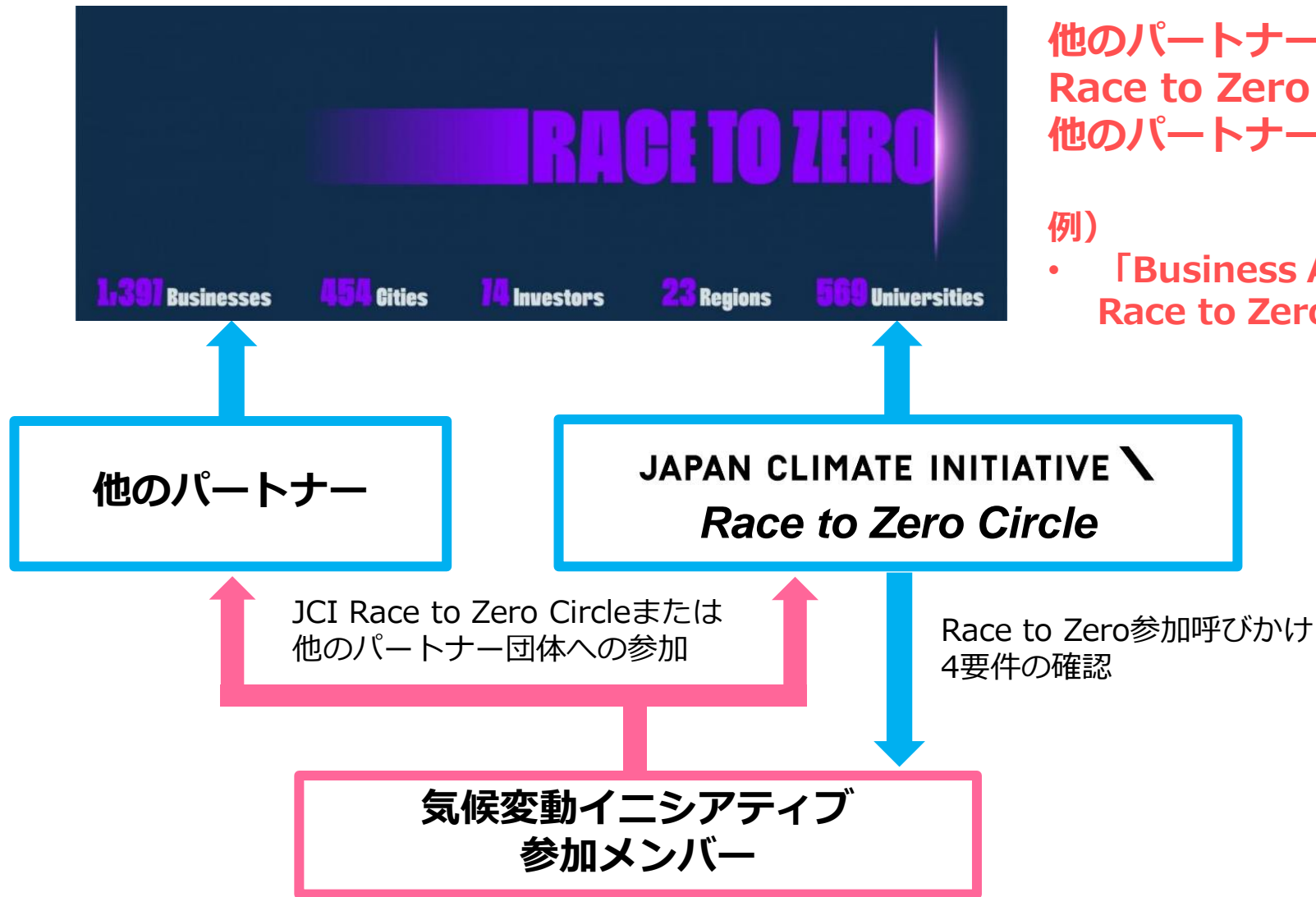
4. 公開 : Publish

少なくとも年に一度、中長期目標の進捗および実施した取り組みについて報告、公開をすること。またできる限り、UNFCCC Global Climate Action Portal<https://climateaction.unfccc.int/>への公開につながるプラットフォームを通じて報告すること。

Race to Zeroの全体像



JCIメンバーの参加フロー



他のパートナーに参加する場合でも、JCI Race to Zero Circleに参加可能。その場合、他のパートナーが求める4要件を適用。

例)

- 「Business Ambition for 1.5C」 + 「JCI Race to Zero Circle」